

教養教育授業科目概要

科目群		科目名	科目概要	
スタディスキル 導入科目	1	基礎ゼミナール	正解のある問題をいかに解くかという「学び」から、自ら問題を発見し考え、解を求める「学び」へと質的な「学びの転換」を図るため「能動的学修(アクティブ・ラーニング)」を導入し、ブレインストーミングや KJ 法等を活用し思考法の獲得を目指す。	
	2	地域学ゼミナール	学部横断のクラス編成のもと、地域課題をテーマとしたPBL(Problem Based Learning)の体験を通じて多角的な視点や思考法を獲得する。そのために様々な情報検索やデータ収集・分析の手法を学習し、地域課題に対するEBP(Evidence Based Practice)への意欲の向上を図る。	
データサイエンス 科目	1	データサイエンス基礎	統計科学を始めとするデータサイエンスの基礎的な知識とスキルを学ぶ。	
	2	データサイエンス発展Ⅰ	データサイエンス基礎で学んだことをもとに、課題解決を通してデータサイエンスの実践力を身につける。	
	3	データサイエンス発展Ⅱ	データサイエンス発展Ⅰで扱ったAI・機械学習の仕組みを学び、データサイエンスの総合的な能力を養う。	
グローバル科目	ローカル科目	1	地域の社会・文化	家族・法・政治など様々な領域からなる<社会>を人間の生活の営みとの関連で考察することを通して地域<社会>の仕組みを理解する。地域の様々な文化(民族(俗)・考古・伝統工芸・文化財・歴史)などを題材に、地域<文化>が持つ価値を認識するとともに、地域社会の文化資源を活かした新たな価値創造の仕組みを学ぶ。
		2	地域の経済・産業	限界集落や地域の過疎化といった、地域(とりわけ北海道・東北地方)が直面している諸課題に対して、産業が地域経済の活性化にどのように寄与するか、地域の経済・産業に関する実践的知識を深めつつ、実際に地域で発生する様々な課題に対する取り組みに触れる事を通して、地域課題解決への展望を考察する。
		3	地域の芸術・文学	文学、音楽作品、演劇、絵画、映像など、地域で生み出された多様な芸術・文学に触れることを通じて、豊かな表現能力を養うとともに芸術・文学作品への実践的なアプローチや批評の仕方を身につける。
		4	地域の自然・環境	地域の自然・環境の課題を、食材、地形や気候条件、森林資源、自然災害などの視点から学びつつ、その仕組みや活用法などを自然科学および社会科学の観点から捉えることにより、地域の自然・環境の様々な事象について理解を深める。
	グローバル科目	1	国際地域・社会・文化	異なる国の地域・社会・文化などを理解するためには、思想や価値観の違いを多面的かつ、複眼的に捉えられる高い教養(視点)が求められる。グローバル社会を生きるための教養としての各国の歴史・文化・政治・法などを理論的・実証的な関わりについて学び深めることを通じて、トランス・ナショナルで多角的な知性・知恵・実践的能力を養う。
		2	グローバル経済・産業	市場経済のグローバル化と知識基盤社会の進展、職業・キャリアの多様化・流動化・国際化が進み、「格差社会」の諸問題が顕在化・深刻化する変化の激しい時代の中にある。世界レベルでのこうした動きを見据えつつ、AI、ビッグデータ活用など、第4次産業革命に向けた今後の動向やグローバル経済の変化とその矛盾を問題意識としながら、グローバル経済・産業の課題を多角的な視点から学ぶ。
		3	世界の芸術・文学	世界のすぐれた芸術・文学作品に触れることを通じて芸術・文学的教養の広さ、深さを学ぶとともに高い知性と豊かな感性を育む。芸術・文学作品への実践的なアプローチや批評の仕方を身につける。
		4	地球環境・気候	気候変動、海洋プラスチックごみ汚染、生物多様性の損失などの様々な形で表れている地球環境問題は、それぞれ関連すると同時に、経済・社会活動に大きな影響を与えている。21世紀の人類の重要な課題である環境問題の解決とエネルギーの確保について、自然科学と社会科学の両面にわたって学ぶことにより、地球規模の環境・気候問題についてグローバルな観点から理解を深める。
		5	持続可能な開発目標SDGs	社会的・生態的な持続可能性を脅かしている様々な課題を克服するために、あらゆる領域において持続可能な社会の構築に取り組む「共創型教育(共に創る「共創の基本原理」)」への転換が求められる。国際社会共通の目標として掲げている「持続可能な開発目標SDGs」を教養教育の一つの柱とし、福祉(貧困・飢餓)・健康・教育・ジェンダー平等・グローバルヘルス・経済産業など、これらの学問分野の領域横断的・統合的な学びの実現を目指し、持続可能な社会創りの観点から理論および実践的な学びを探究する。
		6	現代日本学	日本の社会と文化を世界の国々と比較考察する。日本語と英語の双方の言語を交えて行うバイリンガル授業を目指し、高度な語学力とともに現代日本学に関する深い知識を獲得する。
	科目 多元的 地域志向	1	地域の多様性と活性化	地域社会について多様な切り口から理解を深め、課題解決や資源活用の方法を探り、活性化の方策について考察する。
		2	地域の食と産業化	地域社会の食生活や特産品について学び、食生活や農林水産業、食の産業化について考える力を身につける。
		3	市民参加と地域づくり	政治参加やボランティア、ダイバーシティの観点から、地域社会における市民参加による地域づくりの可能性について考察する。
		4	青森エクスカージョン	青森の地域社会や自然地理、文化、歴史を体感しながら学修し、青森の理解関心を深める。

		5	地域プロジェクト演習	青森の地域課題の解決や資源の活用について、青森の具体事例からの考察や、企画提案の実施などを通して、実習的に学ぶ。
社会・文化	1	1	くらし・文化	人間のくらしを支えている文化と社会の状況について学び、人間社会の多様性を読み解くためのアプローチの方法や視点を学ぶ。
	2	2	歴史・地理	歴史・地理について世界史、日本史、地理学、考古学等の観点から多角的に学ぶ。
	3	3	思想	宗教、哲学、歴史、倫理学などの観点から思想について理解を深める。
	4	4	言語学の世界	言語学の基礎知識を習得し、言語を社会や人間との関係など様々な観点から客観的に捉える。
	5	5	文学	海外文学、日本文学の具体的な作品から文学の歴史・社会との関連を学び、意義を学ぶ。
	6	6	芸術	演奏表現や作品制作の実践、美術鑑賞、文化の体験などを通して、表現することの楽しみを体験し、芸術の理解を深める。
	7	7	政治経済・社会	政治学、経済学、社会学の様々な分野に関して、基礎知識を学び、日常社会との関連を学ぶ。
	8	8	法と社会A	日常生活と深く結びつく法について、様々な法分野に関して基礎的知識を学ぶ。
	9	9	法と社会B	憲法の法規範としての性質に関する基礎を確認・理解し、憲法が現代社会の中で果たす役割について、身近な出来事や政治・社会動向に即して学ぶ。
自然・科学	1	1	環境と生活	環境と生活について、人間が生活を営むに当たって引き起こされた環境の実態、環境が人体へ与える影響の両面から考察する。
	2	2	工学の世界	エネルギーや自然の観点から工学の世界を概括し、工学技術等の最前線を学ぶ。
	3	3	農学の世界	農学領域で用いられている技術や農業、農村の現状などについて学ぶ。
	4	4	数学の世界	日常に潜む様々な数学を取り上げて、日常の事象に対する数理的な見方を豊かにする眼を養う。
	5	5	物理学の世界	物理学の多様なトピックスを扱い、一般教養としての物理学の知識を身に付け、多角的なアプローチの仕方を学ぶ。
	6	6	化学の世界	現代化学の基本的概念、現象、原理と考え方を理解し、化学を広い視野に立って総合的に学ぶ。
	7	7	生物学の世界	基礎的な生物学を学び、総合的な観点から生命現象を理解・把握する。
人間・生命	1	1	人間の尊厳	生と死をめぐる諸問題などの個々の事例から、人間ひとりひとりがかけがいのない存在であることを理解し、人間についての理解を深める。
	2	2	人を育む営み	人間の成長、発達過程とそれをより人間的に育むための様々な営みについて、基本的な理解と認識を獲得する。
	3	3	心理学の世界	人の心や行動について科学的に考える手がかりとしての基礎的な知識と思考法を学び、教養としての心理学を身に付ける。
	4	4	メンタルヘルス	精神的健康を保持、増進し、精神的な不健康を予防する知識を学び、複雑化した社会的状況における心理的・精神的ゆがみとその予防について理解する。
	5	5	生活と健康	健康維持、増進につながる生活習慣や身体の性差などを知ることによって、疾病とその予防について理解を深める。
	6	6	運動と健康A	健康維持、増進のための運動に関する正しい知識と運動による健康障害に対する正しい対処法を学ぶ。
	7	7	運動と健康B	「健康教育」、「保健体育教育」「体力」の分野から授業を展開し、学校教育における健康・体育に関する指導の意義や指導のあり方について考える。
	8	8	医学・医療の世界	年々進歩する現代医学のトピックスについて学び、医学の進歩とそれに伴う医療の変化を理解し、現代の医療の問題点について考察する。
	9	9	情報と健康・医学	日常生活における保健医療サービスに関する情報判断を行うためのヘルスリテラシーや、医学・保健データの解析方法を学び、医療分野のデータへの関わり方について理解を深める。
キャリア教育	1	1	キャリア形成の基礎	授業の目標を設定し、自己理解の上、学びの目標を立てる。多様な職業について職業人と接することを通じて学ぶ。社会との関わりの中で自分の役割や将来ビジョンを考える。
	2	2	キャリア形成の発展	学生が働くことの意義、自らの専門性を見つめ、キャリアをデザインする。地域の経済・社会・雇用の状況を理解し「地域志向」を育む。
	3	3	キャリア形成の実践	働くことの意義や自らの特性・専門性を見つめ、キャリアをデザインする。学ぶ目標を再確認する。
	4	4	キャリアデザイン	社会人になるに従って必要となる様々な分野の知識や能力を講義やワークショップを通して学び、キャリア観を醸成する。
英語	1	1	English Communication A	リスニング・スピーキングを中心に、リーディング・ライティング中心の授業「English Communication C」の学習内容と関連づけながら、総合的な英語力の基礎を身につける。
	2	2	English Communication B	リスニング・スピーキングを中心に、「English Communication A」「English Communication C・D」の学習内容と関連づけながら、総合的な英語力の基礎を身につける。
	3	3	English Communication C	リーディング・ライティングを中心に、リスニング・スピーキング中心の授業「English Communication A」の学習内容と関連づけながら、総合的な英語力の基礎を身につける。
	4	4	English Communication D	リーディング・ライティングを中心に、「English Communication A・B」「English Communication C」の学習内容と関連づけながら、総合的な英語力の基礎を身につける。

	5	Academic Writing & Presentation	英語で研究論文を書いたり研究発表を行ったりする上での基本的技法に関する知識を習得し、興味関心がある分野についてのレポートを英語で書いたりプレゼンテーションを行う能力を身につける。
	6	Content and English Integrated Learning	英語による活動を通して、指定された教科・科目やテーマについての知識を習得し、それについて自分の見解を英語で表現する能力を身につける。
	7	English for Global Communication	世界の多様な英語(Englishes)に触れ、身近な話題について英語でやり取りや討論をする能力を身につける。
	8	English for Tests	指定された英語能力測定試験の試験形式に慣れ、効果的に問題を解く能力を身につける。
多言語	1	ドイツ語I	読み・書き・話す・聞くことについて基礎的な学習をして、ドイツ語による初歩的なコミュニケーションができる能力を身につける。
	2	ドイツ語 II	読み・書き・話す・聞くことについて実践的な学習をして、ドイツ語の総合的な能力を養う。
	3	フランス語 I	読み・書き・話す・聞くことについて基礎的な学習をして、フランス語による初歩的なコミュニケーションができる能力を身につける。
	4	フランス語 II	読み・書き・話す・聞くことについて実践的な学習をして、フランス語の総合的な能力を養う。
	5	中国語 I	読み・書き・話す・聞くことについて基礎的な学習をして、中国語による初歩的なコミュニケーションができる能力を身につける。
	6	中国語 II	読み・書き・話す・聞くことについて実践的な学習をして、中国語の総合的な能力を養う。
	7	特設言語	読み・書き・話す・聞くことについて基礎的な学習をして、世界の多様な言語の初歩を身につける。
日本語	1	日本語A	日本の大学における学習に必要な日本語能力、即ちレポート作成、グループディスカッション、発表等の基本となる技能を身につける。
	2	日本語B	日本の大学における学習に必要な日本語能力、即ちレポート作成、グループディスカッション、発表等の実践的な技能を身につける。